



平成 21 年 11 月 27 日

薬学教育 6 年制実務実習事前学習をスタート

概要：平成 18 年度より薬学教育は 6 年制となり、薬学教育の改善・充実のため薬剤師を目指す学生には病院・薬局における長期実務実習が義務化されました。その長期実務実習を行うに際し、実習前に大学内で薬剤師としての基本的な知識・技能・態度を習得するための実務実習事前学習を行っています。本学では調剤・製剤・服薬指導等の実習に加えて、臨床現場の第一線で活躍している岡山県内の病院薬剤部長・薬局長を講師として迎え、社会のニーズに応えられる質の高い薬学教育を実践しています。

医療技術や医薬品の創製・提供における科学技術の進歩、医薬分業の進展など、薬学をめぐる状況が大きく変化してきている中、薬剤師を目指す学生には基本的知識・技術はもとより豊かな人間性、高い倫理観、医療人としての教養、課題発見能力・問題解決能力、現場で通用する実践力などを習得することが求められています。そのような状況の中、平成 18 年 4 月より薬学教育は新たに 6 年制教育が開始され、第 1 期生が現在 4 年生であります。4 年生には 5 年生に行われる長期実務実習（病院 11 週間、薬局 11 週間）に備えて薬学部内で実務実習事前学習を行っています。この実務実習事前学習では調剤・製剤・院内製剤・疑義照会・服薬指導など薬剤師としての基本的な技能・態度を習得しています。また、本学部では岡山県内の病院薬剤部の薬剤部長・薬局長および岡山県薬剤師会から実務経験豊富な第一線の臨床現場で活躍されている薬剤師を招き、臨床現場での現状、将来あるべく薬剤師像について教授頂いています。

このような質の高い実務実習事前学習を行い、学生が基本的な能力（知識・技能・態度）を習得しているかを担保するために、医学部・歯学部と同様に全国共通の薬学共用試験（「知識および問題解決能力を評価する客観試験(CBT)」と「技能・態度を評価する客観的臨床能力試験(OSCE)」）が実務実習前に実施され、その合格者が実務実習へ行くこととなります。

このように、本学部では国民の健康を守る質の高い薬剤師養成教育を行っています。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（薬学系） 合田栄一

（電話番号）086-251-7960

（FAX番号）086-251-7926